

麻 醉 科

1. スタッフ

科長（兼）教授 藤野 裕士

その他、講師 3 名、助教 12 名、医員 21 名
（兼任を含む。また、助教は特任を含む。）

2. 診療内容

(1) 麻酔科

手術部における手術のうち、局所麻酔を除くすべての症例について麻酔管理を行っている。麻酔科管理の手術列は一日に最大 14 列まで全身麻酔の予定手術を組むことが可能で有り、さらに予定手術以外にも緊急手術の麻酔管理も行っている。麻酔管理症例数は予定手術件数及び緊急手術件数が共に増加しており、年間約 7000 例近い症例を管理している。

心室補助循環装置植え込み術、先天性心奇形、各種臓器移植手術、ロボット手術や経カテーテル的大動脈弁置換術など難易度の高い手術に加え、重症症例やハイリスク症例など特色のある症例の麻酔管理を行っている。また、対象の患者年齢は、新生児から高齢者まで非常に幅広い。教育機関としても、後期研修医の育成に力を入れており、日々の臨床で身につけた経験・知識・技術をもとに国内外での学会発表などの学術活動を積極的に指導している。

(2) ペインクリニック

地域連携の拠点としてプライマリな疼痛疾患から難治性疼痛まで幅広く専門的な痛み治療を行っている。腰下肢痛、変形性関節症、神経障害性疼痛に対する高度なインターベンショナル痛み治療に最も力を入れている。また、大学病院としての性格から、複合性局所疼痛症候群（CRPS）、求心路遮断性疼痛、脊椎手術後疼痛症候群などの難治性疼痛患者や、心理社会的要素の関与が強い複雑な患者も多く、集学的な診療を実施している。

3. 診療体制

(1) 麻酔管理

手術部において全身麻酔・硬膜外麻酔・腰椎麻酔・伝達麻酔などによる麻酔管理を行っている。手術室外でも依頼に応じて放射線部における検査・治療の全身麻酔を行っている。麻酔科管理症例には各手術室に若手麻酔科医 1 名を筆頭担当医として配置し、症例の難易度に応じて 1～4 室ごとに 1 名の経験豊富なスタッフがバックアップを取る体制を基本としている。また毎週水曜日 17 時 30 分より麻酔科カンファレンスにて

術前・術後の問題症例検討会を行っており主科を交えて麻酔管理法について検討を行っている。術後疼痛コントロールに関してはマンパワーの不足や麻薬管理上の都合などのため、他病院より遅れているのが実情であるが、一部の手術では超音波ガイド神経ブロックなど最先端の鎮痛手技を試みている。

(2) 麻酔科術前外来

麻酔科術前外来では、麻酔科専門医資格を有するスタッフが予定手術症例の術前評価を行っている。外来は週 5 日間行っており、患者へ全身麻酔をはじめとする手術に必要な麻酔法及び合併症やリスクについて説明を行っている。

(3) ペインクリニック

ペインクリニックの診療は助教以上の教員、医員・研究生により運営している。1 日あたりの外来担当医は 2～3 名で、月曜日から金曜日の午前・午後に来来診療を行い、毎週木曜日にカンファレンスを実施している。入院診療は、東 3 階病棟で高度なインターベンショナル痛み治療や集学的治療を実施している。

(4) 無痛分娩

産科との協力体制のもと、麻酔科主導による 24 時間体制の無痛分娩を実施している。平成 29 年度の無痛分娩は 120 件であったが、令和元年度の無痛分娩件数は 195 件と年々増加している。病棟の無痛管理に加え、週一回の無痛分娩外来、月二回の無痛分娩教室、毎月一回の症例検討会を行っている。

4. 診療実績

(1) 麻酔管理

令和元年度の年間症例数は 6836 例で、前年度より増加した。診療科別、麻酔方法別の麻酔科管理症例数は表 1、2 に示すとおりである。令和元年度の術前外来患者数は前年度から微増の 5,979 名（外来患者：4,610 名、入院中外来 1,173 名、予約外 196 名）であった。また無痛分娩外来は昨年度とほぼ同等の、219 名の診察を行った。

(2) ペインクリニック

1 日あたりの外来患者数は 20～50 名、新患数は 2～4 名程度である。令和元年度外来延べ患者数は 6560 名であった。令和元年度の外来初診患者数及び入院患者数を疾患別に分けて示す。（表 3、表 4）

5. その他

本院は、日本麻酔科学会指導認定病院（指導医 14 名、専門医 21 名）、及び日本ペインクリニック学会専門医指定研修施設（専門医 6 名）、日本心臓血管麻酔学会指導認定施設（専門医 2 名）に認定されている。

当科ペインクリニックでは脊髄刺激療法、高周波熱凝固法を用いたニューロモデュレーション治療などの高度医療を積極的に行っている。難治性がん性疼痛に対する高度な神経ブロック治療に積極的に取り組んでおり、なかでも CT ガイド下経皮的コルドトミーは日本で数少ない実施医療機関として体制を整備している。三叉神経痛に対する高周波熱凝固装置を用いた末梢枝ブロック、全身麻酔を併用したガッセル神経節ブロックも数多く行っている。慢性肩関節・膝関節痛に対する末梢神経パルス高周波法に先駆的に取り組み、実績を上げている。また慢性腰下肢痛に対する低侵襲治療法には特に力を入れており、経皮的硬膜外腔癒着剥離術、硬膜外腔内視鏡、椎間板内治療などを積極的に行っている。

表1 診療科別の症例数

診療科	症例数
消化器外科	803
心臓血管外科	947
呼吸器外科	376
産科婦人科	711
整形外科	697
脳神経外科	422
小児外科	426
耳鼻咽喉科	586
乳腺・内分泌外科	316
泌尿器科	438
形成外科	311
高度救命救急科	72
眼科	417
皮膚科	49
循環器内科	62
消化器内科	9
血液・腫瘍内科	6
精神科	149
小児科	35
麻酔科	4
計	6836

表2 麻酔方法別の症例数

	症例数
全身麻酔	5375
全身麻酔＋硬膜外麻酔	620
全身麻酔＋神経ブロック	484
腰椎麻酔	149
腰椎麻酔＋硬膜外麻酔	94
腰椎麻酔＋神経ブロック	22
硬膜外麻酔	36
神経ブロック	18
その他	38
計	6836

表3 ペインクリニック年間外来初診患者数

疾患名	症例数
運動器慢性痛	51
神経障害性慢性痛	108
特発性慢性痛	105
急性痛(3か月以内)	46
術後外傷後慢性痛	37
慢性頭痛口腔顔面痛	25
がん性慢性痛	16
慢性内臓痛	1
その他	13
計	402

表4 ペインクリニック年間入院患者数

疾患名	症例数
慢性腰下肢痛	56
慢性頸肩腕痛	11
変形性関節症	5
CRPS	8
HZ、PHN	7
三叉神経痛	9
その他の神経障害性疼痛	8
がん性疼痛	0
その他	4
計	108